

妊娠初期検査(血液検査)のご案内

当院では妊婦さんに対し、妊娠初期検査として以下の血液検査を実施しております。各検査について簡単に御説明いたします。

- 末梢血液一般検査：一般に妊娠中は胎児・胎盤への鉄移行、または妊娠悪阻や偏食などにより鉄欠乏性貧血になりやすいといわれています。
- 梅毒検査（梅毒RPR定性／梅毒TP抗体定性）：
お母さんが感染していると胎盤を介して赤ちゃんに感染することがあります。早期発見し治療すればお母さんから赤ちゃんへの感染はほとんどありません。
- B型肝炎検査（HBs抗原定性／HBs抗体定性）：
お母さんがB型肝炎ウイルスに感染していると、分娩時に血液を介して赤ちゃんに感染することがあります。しかし、検査により早期発見できれば、母子感染は防止することができます。また、お母さんのHBs抗体が陽性ならば、B型肝炎にはかかりません。
- C型肝炎検査（HCV抗体）：
母親の血液を介して、まれに赤ちゃんに感染することがあります。現在のところ母子感染の予防法が確立されていませんので、もし陽性の場合は十分な経過観察が必要です。
- 風疹抗体検査（風疹HI）：
妊娠初期に風疹にかかると赤ちゃんに先天性異常を認めることがあります。従って、妊娠初期に風疹抗体を調べて既に抗体を持っているかどうかをチェックします。
- 血液型検査（ABO/Rh）：
分娩時の思わぬ出血に対する準備として、また血液型不適合妊娠を防止するためにもこの検査を実施します。
- 血糖検査：妊娠前からまたは妊娠してからの糖尿病は、お母さん本人や赤ちゃんに対して様々な問題となることがあります。従って妊娠の初期に血糖値を把握しておくことは大変重要です。
- トキソプラズマ
☆☆☆☆ 当院では広島市医師会臨床検査センターに検査を委託しています ☆☆☆☆

H I V (エイズ) 抗体・A T L (成人T細胞白血病) 抗体検査のご案内

妊娠・分娩期間中に、お母さんから赤ちゃんへと感染し、赤ちゃんに影響を及ぼす疾患としてH I V感染症やA T Lの母子感染が知られています。

当院では妊婦さんに対し、H I V抗体およびA T L抗体検査を実施しています。妊娠がわかったら、検査により感染の有無を確認しておくことはとても大切なことです。

【H I V (エイズウイルス) 感染症について】

- H I V感染症は、「H I V」というウイルスの感染により引き起こされ、免疫機能が低下する疾患で、主として性行為により感染します。
- お母さんがH I Vに感染していると、妊娠・出産・授乳を通して赤ちゃんが感染する場合があります。
- H I Vは感染していても何年も症状がでないことが多く、母子感染を防止するためにも抗体検査による確認が必要です。
- お母さんの感染が早期に発見されると、帝王切開の実施などにより赤ちゃんへの感染を著しく低下させることができます

【A T L (成人T細胞白血病) について】

- A T Lウイルスが体内に侵入することで感染が成立します。
- A T Lウイルスに感染していても、ほとんどの場合発病することはありません。しかし、体内にはA T Lウイルスを持ち続けます (ウイルスキャリアといいます)。
- お母さんがウイルスキャリアの場合には、出産後、母乳を通じて赤ちゃんに感染させる可能性が高くなります。
- 検査によりお母さんへの感染が発見されると、出産後は人工乳哺育などにより赤ちゃんへの感染を防止することができます。

《H I V抗体およびA T L抗体検査について》

いずれの検査も血液を使用して実施いたします。

H I V抗体検査につきましては陽性の場合、ごくまれに生じる偽陽性反応を除外するため、さらに精密な確認試験を実施した上で最終判定となります。

☆☆☆☆当院では広島市医師会臨床検査センターに検査を委託しています☆☆☆☆

HIV(エイズウイルス)抗体検査について

HIV(エイズウイルス)感染症とは？

HIV(エイズウイルス)感染症は、「HIV」というウイルスの感染により引き起こされる病気で、感染するとその長い経過の中で、徐々に体内の免疫機能が低下し、さまざまな病気を発症します。

また、母親がHIVに感染していると、妊娠・出産・授乳を通じて、赤ちゃんが感染する場合がありますので注意が必要です。

HIVは主として性行為により感染します。残念ながら、日本では年々感染者数が増加しています。

なぜ妊娠初期にHIV抗体検査を行うことが重要なのでしょうか？

- (1) HIVは感染していても何年間も症状がでないことが多いため、母子感染を防止するためにも、HIV抗体検査による確認が必要です。
- (2) 母親の感染が早期に確認されると、母親の発病を予防するための措置を講じることができます。また、帝王切開等の実施により、赤ちゃんへの感染率を著しく低下させることができます。

HIV抗体検査の流れについて

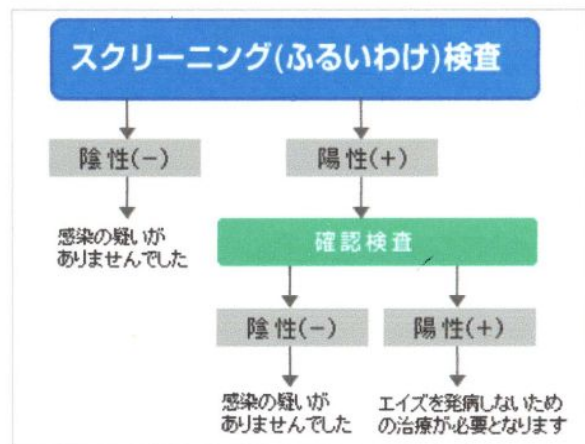
検査は血液を使用し、まずHIV抗体検査(スクリーニング検査※¹)を実施します。

この検査はごくまれに偽陽性が認められることもあるため、「陽性」の場合は、さらに精密な確認検査※²を実施いたします。

確認検査でも「陽性」となった場合は、母親の発病および母子感染を阻止するための治療が必要となります。

※¹: 当院では、スクリーニング検査については広島市医師会臨床検査センターに検査を委託しています。

※²: 確認検査については、広島市医師会臨床検査センターより広島市衛生研究所に依頼しています。



以上のような状況を考慮し、本検査の実施にご理解をお願いいたします。

緑井レディースクリニック